

「母乳サイエンスを深める」

この度、第29回日本母乳哺育学会・学術集会を平成26年10月11日（土）、12日（日）に横浜市教育会館において開催させていただきます。堀内 勁先生の会頭のもとで開催された第20回学術集会以来9年ぶりの横浜開催となります。

日本母乳哺育学会は、母乳でこどもが育つ・母が育てることについて、学術的に研究し、科学的な根拠を求め、社会に発信し、医学に還元することを目的としており今回の学術集会では、母乳育児におけるいくつかの問題点を中心に最新の情報に基づいて議論し方向性を示す場にできればと考えております。

このような学術集会を開催させていただきますことは、極めて光栄なことと存じ、横浜市立大学附属市民総合医療センター総合周産期母子医療センタースタッフ一同、学術集会の開催に向けて心を込めて準備をすすめていく所存でございます。

会長 関 和男

公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター

総合周産期母子医療センター

会期：平成26年10月11日（土）・12日（日）

会場：横浜市教育会館ホール

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘53番地

Tel 045-231-0960 HP <http://www.ecole.jp/>

主なプログラム（予定）：

特別講演	山城雄一郎	「母乳育児の最新知見と専用発育曲線の重要性」
教育講演1	道上敏美	「ビタミンD Update」
教育講演2	伊藤 進	「ビタミンK欠乏性出血症と母乳育児」
パネルディスカッション		「BFHとEBMに基づく教育」
シンポジウム		「正常からの逸脱をどう考えるか」
勉強会		「社会復帰と母乳育児」
会長講演	関 和男	

学会参加費：会員 10,000円 非会員 12,000円 学生 無料

※ 事前登録はございません。

懇親会：平成26年10月11日（土）18:00～

会場：レストランテ Mangiare 伊勢山店

住所：横浜市西区宮崎町58-3 伊勢山ヒルズ1F

電話：045-260-8845 会費：未定

演題募集要項：

1 演題募集期間

- ① 2014年4月22日(火)～6月10日(火)正午まで

2 一般演題の応募資格

- ① 筆頭演者(=発表者)、共同演者とも、学会当日に本学会会員であることが必要です。
- ② 年会費未納の方は、速やかに払い込み手続きをお取りください。
- ③ 非会員の方は日本母乳哺育学会事務局ホームページより、入会手続きをお取りください(<http://square.umin.ac.jp/bonyuu/>)。
- ④ 年会費未納や非会員の場合、抄録集に氏名が掲載されません。

3 一般演題の応募要項

① 演題登録フォーム

- ・<http://bonyu29.umin.jp/abstracts.html>よりダウンロードの上、必要事項を入力してください。

② 抄録本文

- ・抄録はMicrosoft Wordを使用し、以下の要領で作成してください。
- ・サイズ：A4
- ・文字数：全角800字以内

4 抄録本文中でグラフや図表は使用不可

5 提出方法

- ・下記運営事務局に電子メールで、上記の①演題登録フォーム、②抄録本文を添付して提出してください。
- ・メールの件名は、「29 母乳哺育演題申込み 筆頭演者の氏名」としてください。
- ・メール送信後3営業日を過ぎても受領メールが送られてこない場合は、恐れ入りますが、下記運営事務局までお問い合わせください。

第29回日本母乳哺育学会学術集会 運営事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10 住友成泉小石川ビル7階
株式会社サンプラネット MCV 事業本部内

TEL:03-5940-2614 FAX:03-3942-6396

E-mail:bonyu29@sunpla-mcv.com

6 一般演題の採否について

- ① 一般演題の採否は、会長に一任させていただきます。
- ② 2014年8月頃、ご登録の電子メールアドレス宛に採否通知を配信いたします。

目次

—Index—

巻頭言	赤ちゃんにやさしい病院の拡大	関 和男	1
シンポジウムⅠ「母乳育児の確立をめざす支援技術」			
序文		水野 克己、石井 廣重	2
入院中から産後1週間程度の直接授乳支援技術		柳村 直子	3
母乳育児カウンセリングの基本技術		新井 基子	11
母乳育児の確立をめざす支援技術			
—陥没乳頭・扁平乳頭の母親への支援技術—		松原 まなみ	20
シンポジウムⅡ「母親の感染症と母乳育児」			
序文		森内 浩幸、本間 和宏	26
ヒト免疫不全ウイルス		沖津 祥子	29
HTLV-1 感染症		板橋 家頭夫	35
サイトメガロウイルス		森内 昌子	41
B型肝炎ウイルス		長田 郁夫	48
母乳育児をしないことを選択する・			
母乳育児がうまくいかなかった母親への支援		大山 牧子	56
総説	第28回母乳哺育学会教育委員会主催勉強会「地域における母乳育児支援」		
	地域における母乳育児支援 ～母親の立場で～	田邊 佳代子	60
	地域における母乳育児支援の重要性	滝 元宏	64
原著	Maternal plasma and breast milk concentrations of labetalol administered to lactating women and infantile findings	Kazuko Uematsu	72
話題提供	アメリカ小児科学会方針宣言		
	“The Transfer of Drugs and Therapeutics into Human Breast Milk: An update on Selected Topics” を読んで	水野 克己	81
	日本母乳哺育学会賛助会員リスト		84
	日本母乳哺育学会学術集会今後の予定		84
	投稿規程		85
	利益相反申告書		90
	Information for authors in English manuscripts		91
	投稿論文チェックリスト		98
	編集後記		99

CONTENTS

Vision:

Prevalence of Baby Friendly Hospitals
Kazuo SEKI

Symposium Reports:

Support Technology for Establish Breastfeeding: Introduction
Katsumi MIZUNO

Support Well-established Breastfeeding during the Hospital Stay
Naoko YANAMURA

The Basic Skills in Breastfeeding Counseling
Motoko ARAI

Breastfeeding Support for Inverted and Flat Nipple Mothers
Manami Matsubara

Maternal Infectious Diseases and Breastfeeding: Introduction
Kazuhiro HOMMA, Hiroyuki MORIUCHI

HIV Infection and Breastfeeding
Shoko OKITSU

HTLV-1 Infection and Breastfeeding
Kazuo ITABASHI

Cytomegalovirus Infection and Breastfeeding
Masako MORIUCHI

Hepatitis B virus Infection and Breastfeeding
Ikuo NAGATA, Jun MURAKAMI, Mazumi MIURA

**Counseling mothers who decide not-breastfeeding or who have failed
previous breastfeeding**
Makiko OHYAMA

Workshop reports:

Community breastfeeding support ~from a mother's point of view~
Kayoko TANABE

Importance of the breast feeding care support in the community
Motohiro TAKI

Original articles

**Maternal plasma and breast milk concentrations of labetalol
administered to lactating women and infantile findings**

Kazuko UEMATSU, Eiko KOBAYASHI, Emi KATSUMOTO, Haruna MATSUMOTO,
Satoko KAWAI, Mitsuhiro SUGIMOTO, Tadashi KAWAKAMI, Tomoko TERAJIMA,
Kayoko MAEZAWA, Junko KIZU

Vol. 8, No. 1, 2014

The Journal of the Japanese Society for Breastfeeding Research